

































<種の抽出に利用した既存の文献等>

作業量の限界から、全体で数百種類程度となるよう、かつできるだけ異なる観点から抽出を行った。

①特定外来生物(12種)と要注意外来生物(84種)

②IUCNのワースト100のうち植物27種(在来種を除く全種が既に①に含まれている)。http://www.issg.org/database/species/search.asp?st=100ss&fr=1&str=&lang=EN

日本の侵略的外来種ワースト100のうち植物26種(既に全種が①に含まれている)。日本生態学会(2002)外来種ハンドブック。地人書館。

③村中ら(2005)掲載の108種(※河川重視の評価)。

村中孝司・石井潤・宮脇成生・鷲谷いづみ(2005)特定外来生物に指定すべき外来植物種とその優先度に関する保全生態学的視点からの検討。保全生態学研究10:19-33。

④FAO方式による雑草性リスク評価の結果、6点以上の特に注意すべき外来植物(\*は今後導入される可能性のある外来植物)

外来生物のリスク評価と蔓延防止策(文部科学省科学技術振興調整費・重要課題解決型プロジェクト)による雑草性リスク評価、日本農学会(2008)外来生物のリスク管理と有効利用。養賢堂。

⑤地方公共団体や民間団体により、対策の対象となっている種(数字は対策事例数)

環境省自然環境局野生生物課(2009)平成20年度外来種対策事例等に関する調査報告書。

環境省自然環境局野生生物課(2012)平成23年度外来種問題調査検討業務報告書。

⑥専門家アンケートで、ハビタットや在来種への影響が大きい(74人中5名以上があげた)種(数字は回答者数)

ハビタットの種類:海洋島、水生植物群落、河原・崩壊地の貧栄養砂礫地、里山の二次草原、貧栄養湿地、砂浜海岸、高山植生、塩性湿地、雑木林・都市林、極相林、低地岩場、海岸の岩場

小池文人・小出可能・西田智子・川道美枝子(2010)専門家アンケートによる在来植物の脅威となる外来生物の重要度評価 http://vege1.kan.ynu.ac.jp/lecture/invasiveness2010.pdf

⑦都道府県などで特に侵略的または優先的に対策すべきとされる種

01 北海道ブルーリスト2010。https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/alien/bluelist/bluelist\_top.html  
カテゴリーA2:本道の生態系等へ大きな影響を及ぼしており、防除対策の必要性について検討する外来種17種(カテゴリーA1はなし、A3は106種が掲載)

五十嵐博(2015)北海道外来植物便覧-2015年版-。北海道出版。  
北海道ブルーリスト2010(639種)から新たに71種追加した710種の外来種について、原産地、原因、参考文献、分布情報を記した。北海道指定外来種に指定された2種(イワミツバ、フランスギク)も同様。

江川知花・西村 愛子・小山 明日香・露崎 史朗(2017)北海道サロベツ湿原泥炭採掘跡地における外来植物の侵入。保全生態学研究, 22:187-197。  
サロベツ湿原において、ヒメスイバ、エゾノギシギシ、フタナの3外来種の侵入を記録し、希少種の生息する重要な環境に悪影響を与える可能性を言及した。

北海道生物の多様性の保全等に関する条例 指定外来種の指定種一覧 https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/shiteigairai01.html

02 青森県(2006)青森県外来種対策学術調査報告書-青森県外来種リポート。http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kankyo/shizen/files/2008-0607-1553-a.pdf

カテゴリーA(侵略的定着外来種):本県に定着している外来種のうち、生物多様性への影響が報告されている又は懸念される種のうち、代表的な選定種30種

07 福島県生活環境部自然保護課(2023)ふくしまブルーリスト2022 年度版。https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/16035b/fukushimagairai.html

福島県の侵略的外来種リストに植物は61種が掲載。

09 栃木県、長谷川順一(2008)栃木県の自然の変貌, 自然の保全はこれによいのか(自刊)。

近年増加が顕著な帰化植物

栃木県(2021)本県において優先的に対策を行う必要がある外来種について。https://www.pref.tochigi.lg.jp/d04/gairai\_priority.html  
優先対策種(対策の優先度が高い外来種)3種、策検討種(対策実施について検討すべき外来種)8種類、侵入等警戒外来種(侵入を特に警戒する必要がある外来種)11種類

10 群馬県、石川真一・清水義彦・大森威宏・増田和明・柴宮朋和(2009)外来植物の脅威-群馬県における分布・生態・諸影響と防除方法-。上毛新聞社事業局出版部。

県内で生育が確認され、生態系等への被害が想定される「県内危険外来種」11種

埼玉県環境防災部みどり自然課(2005)埼玉県内において在来の植生に悪影響を及ぼすおそれのある侵入的外来植物について。改訂・埼玉県レッドデータブック2005植物編。pp.299-306。

危険度5 極めて危険・すでに在来植生に侵入し、在来種と競合して在来種を駆逐しているもの。コナダモ、オオフサモなど17種

・すでに在来の種と交雑し、雑種に繁殖力があるもの。セイヨウタンポポなど

11 危険度4 非常に危険・すでに在来植生に侵入し、近い将来、在来種を駆逐する危険の高いもの。オニマタタビなど25種

・すでに在来種との交雑が確認されているが、現時点では雑種に繁殖力がないもの

侵入した植生のタイプ:河川敷、池沼・湿地、落葉樹林、林縁、路傍等

埼玉県環境部自然環境課(2012)埼玉県の希少野生生物。埼玉県レッドデータブック2011植物編。https://www.pref.saitama.lg.jp/b0508/saitamakennoyseiseibutu/reddatabook2011-plants.html

5 希少植物を脅かす外来植物 今後注目すべき外来植物17種

12 千葉県外来種対策(植物)検討委員会(2010)千葉県の外来種(植物)の現状等に関する報告書。http://www.bdcchiba.jp/alien/bdc-alien/alienplantsreport2009.pdf

「影響度」および「緊急度」、「容易性」がともにAランクの23種

千葉県環境生活部自然保護課(2020)千葉県の外来生物リスト2020年改訂版

付加情報(生態系又は人に対する影響度、根絶の可能性を考慮した防除の緊急度)あり、影響度・緊急度ともにAの種数は、シダ2種、種子植物25種、蕨類1種。

13 小笠原諸島、延島冬生(2010)小笠原諸島に侵入している外来植物の現状。植調44(1)5-13。侵略的外来樹木9種、侵略的外来草本8種

14 丹沢大山地域の生態系に特に影響を与えるおそれのある外来生物リスト区分 https://www.pref.kanagawa.jp/docs/f4y/03shinrin/e-tanzawa/shiraberu/gairai\_ichiran.html

生態機への影響が大きい外来種12種、中規模の外来種11種を掲載。神奈川県植物誌と併用で抽出根拠に加筆した。

20 長野版 外来種対策ハンドブック https://www.pref.nagano.lg.jp/shizenhogo/kurashi/shizen/hogo/gairai/gairai-kennai.html

長野県で対策に取り組みたい外来種について、付加情報あり。木本4種と草本13種を掲載。

23 愛知県環境部自然環境課(2012)愛知県の移入動植物ブルーデータブックaiti2012(STOPI移入種 守ろう!あいちの生態系~愛知県移入種対策ハンドブック~付属資料抜刷)

http://www.pref.aichi.jp/kankyo/sizen-ka/shizen/gairai/handbook/pdf/10\_shiryuu3-plants.pdf

環境影響が大きい、あるいは今後大きくなるものが予想される植物78種

愛知県、上記のうち「自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例」(以下「条例」という。)において、生態系に著しく悪影響を及ぼすおそれのある移入種11種

https://www.pref.aichi.jp/soshiki/shizen/gairai-iourei.html

25 ふるさと滋賀の野生動植物との共生に関する条例、指定外来種 https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kankyoshizen/shizen/14014.html

滋賀県外来種リスト2019。https://www.pref.shiga.lg.jp/file/attachment/5147117.pdf

付加情報はない。生態系被害防止外来種リストのカテゴリー区分および県独自の区分が記されている。強影響外来種(シダ植物1種、種子植物16種)、中影響外来種(シダ植物1種、種子植物49種)

26 京都府外来生物情報、京都府外来生物リスト http://www.pref.kyoto.jp/gairai/list/spermatophyta.html

被害甚大種(京都府内における被害が大きく、又は大きくなる可能性が強く緊急に策が必要な外来種)5種

被害危惧種(京都府内における被害があり、又は被害が生じる可能性が強く対策が必要な外来種)のうち特に被害が大きいと認められる種37種

28 兵庫県(2010)生物多様性に悪影響を及ぼす外来生物への対応。兵庫県の生物多様性に悪影響を及ぼす外来生物リスト(ブラックリスト)(2010) 2019年改訂版

Z警戒種(生物多様性への影響が大きい、または今後影響が大きくなるものが予測される32種→2019年までの追加と削除で35種へ更新)

30 和歌山県の外来種リスト https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/032000/032500/gairai/list.html 付加情報あり。重点啓発外来種43種。

31 鳥取県生物学会(2007)鳥取県の外来性動植物のリスト(2007)。山陰自然史研究3:37-45。

本県への影響大とされる10種

33 岡山県、外来食虫植物の除去(岡山県自然保護センター) http://opnacc.eco.coocan.jp/chosa-kenkyu/gairai-shokuchu-shokubutsu.html

34 広島県、吉野由紀夫・太刀掛優・関太郎(2007)広島県における外来植物の現状とその問題点。比叡科学224:1-18。

ランクA:広島県の自然生態系に重大な影響をおよぼすおそれのある種64種

36 徳島県版生態系影響外来種リスト(2024)https://www.pref.tokushima.lg.jp/ippannokata/kurashi/shizen/7239140/

危険外来種 39種

37 香川県侵略的外来種リスト2021。https://www.pref.kagawa.lg.jp/midorihozen/seibutu/gairaiseibutu/gairaiist.html

県独自の詳細な付加情報(選定理由、生態的特徴、侵入経緯、生息環境、影響被害、防除方法など)あり。緊急対策外来種(10種)、重点対策外来種(27種)、特別選定種(9種)。

38 愛媛県野生動植物の多様性の保全に関する条例に基づく侵略的外来生物の公表について http://www.pref.ehime.jp/h15800/gairaiseibutu/index.html、侵略的外来生物40種

2023年の見直しで35種となった。

39 高知県で注意すべき外来種リスト2020。https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2020070200344/file\_contents/file\_20207142142755\_1.pdf

生態系被害防止外来種リストを基準とした付加情報あり。防除対策外来種(12種)、重点啓発外来種(137種)、産業管理14種

高知県の外来植物2019調査報告書。高知県立牧野植物園。

注意が必要な外来植物14種について詳細な情報あり。

40 福岡県侵略的外来種リスト2018。https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/sinryakugairai.html

詳細な付加情報、県独自の評価基準・区分あり。重点対策外来種(10種)、要対策外来種(88種)を掲載。

41 佐賀県環境の保全と創造に関する条例、移入規制種18種、https://sy.pref.saga.lg.jp/kenseijoho/jorei/reiki\_int/reiki\_honbun/q201RG00001140.html

45 宮崎県版レッドデータブック改訂検討委員会(2011)改訂・宮崎県版レッドデータブック宮崎県の保護上重要な野生生物。宮崎県環境森林部自然環境課。植物のブラックリスト11種類

宮崎県外来種リスト(2021)。https://www.pref.miyazaki.lg.jp/documents/9782/9782\_20211118104414-1.pdf

生態系被害防止外来種リストを基に作成されており、県内の定着段階と生育状況等の付加情報も掲載されている。緊急対策外来種8種、重点対策外来種36種、上記以外で外来種リストに掲載が必要なものの7種(県独自)

46 鹿児島県外来種リスト(2017一部改訂版)。http://www.pref.kagoshima.jp/ad04/kurashi-kankyo/kankyo/yasei/gairai/documents/51561\_20170405164635-1.pdf

付加情報(県内の導入分布地、原産地、侵入の経緯、影響の内容、特記事項)あり。県独自の区分あり。緊急防除種2種、重要防除種20種、一般防除種49種、重点啓発種374種

鹿児島県侵略的外来種番付表および鹿児島県侵略的外来種番付表説明文

本土と島嶼で分けて、特に問題がある外来種を対象にその被害を記した。植物は18種掲載。

指定外来動植物による鹿児島県の生態系に係る被害の防止に関する条例 https://www.pref.kagoshima.jp/ad04/kurashi-kankyo/kankyo/yasei/gairai/jyourei.html

奄美・環境省九州地方環境事務所那覇自然環境事務所(2010)平成21年度奄美地域における国立公園特別地域内放出規制植物種検討調査業務報告書。

奄美野生生物保護センター(2024)外来植物対策の優先度リストhttps://kyushu.env.go.jp/okinawa/awcc/alien-priority.html

A:積極的に防除作業を行い、島内からの排除を目指す(9種)、B:場所を限定して局所的な防除を進める(6種)、C:普及啓発等を通じて新たな拡散を防止(9種)など

47 沖縄県対策外来種リスト(令和6年3月更新)https://www.pref.okinawa.lg.jp/\_res/projects/default\_project/\_page/\_001/004/820/r6gairaisyulist.pdf

重点対策種2種、対策種85種など。

沖縄県希少野生動植物保護条例における指定外来植物 https://www.pref.okinawa.jp/kurashikankyo/shizenseibutsu/1018702/1004865.html ウチワゼニクサ(タテバチドメグサ)1種

⑧多くの河川で確認されている種と、確認される河川数が急激に増えている種(表の数字は3回の調査での確認河川数)

河川水辺の国勢調査1・2・3巡回調査結果総括検討[河川版](生物調査編)平成20年3月 国土交通省河川局河川環境課 http://www3.river.go.jp/gaiyou.htm

⑨緑化植物に関する三省調査で、法面緑化地周辺において逸出が確認された種(括弧内は調査実施主体の略)

環境省自然環境局・農林水産省農村振興局・林野庁・国土交通省都市・地域整備局・国土交通省河川局・国土交通省道路局・国土交通省港湾局(2006)平成17年度外来生物による被害の防止等に配慮した緑化植物取扱方針検討調査委託事業報告書。

なお、生態系への影響に対応した望ましい取扱方向(案)の対象種は、イネ科植物、ハリエンジュ、(外国産)在来緑化植物とされている。

⑩海外の評価

ISSG掲載の在来種以外:Lists of Invasive Alien Species (IAS)。https://www.iucngisd.org/gisd/

⑪その他

検討会委員からの情報提供等

⑫2024年度に、リスト検討会委員、関係省、地方環境事務所及び地方公共団体等に行った意向調査であげられた種類。

<主な参考文献(略称)>

Bossard, C. C., J. M. Randall and M. C. Hochovsky. 2000. Invasive Plants California's Wildlands. University of California, Berkeley. 360pp. (PCW)

Centre of Agriculture and Biosciences International. Invasive Species Compendium. <https://www.cabidigitallibrary.org/product/QI> (CABI)

海老原淳(2016)日本産シダ植物標準図鑑1. 学研プラス. 東京. (海老原図鑑1)

Flora of North America [http://www.efloras.org/flora\\_page.aspx?flora\\_id=1](http://www.efloras.org/flora_page.aspx?flora_id=1) (FNA)

Global Compendium of Weeds, <http://www.hear.org/gcw/index.html> (GCW)

橋本梧郎(1996)ブラジル産薬用植物事典. アボック社. (ブラジル)

林弥栄(1985)山溪カラー名鑑日本の樹木. 山と溪谷社. (樹木)

Holm L., Doll J., Holm E., Pancho J., Herberger J. 1997. World weeds, Natural histories and distribution. John Wiley & Sons, inc. pp 1129 (WWND)

Holm, L. G., J. V. Pancho, J. P. Herberger, and D. L. Plucknett (1991) A Geographical Atlas of World Weeds. Krieger Publishing Company, Malabar, Florida. (GAWW)

Holm L.G., Plucknett D.L., Pancho J.V., Herberger J.P.(1991) The world's worst weeds. . Krieger Publishing Company, Malabar, Florida. pp. 609. (TWWW)

堀田満・緒方健・新田あや・星川清親・柳宗民・山崎耕宇(1989)世界有用植物辞典. 平凡社. (有用)

星野卓二・正木智美・西本眞理子(2011)日本カヤツリグサ科植物図譜. 平凡社. (カヤツリグサ)

岩槻邦男(1992)日本の野生植物シダ. 平凡社. (シダ)

岩月善之助(2001)日本の野生植物コケ. 平凡社. (コケ)

JFコード(日本花き取り引きコード)センター <http://www.jfcode.jp/TOP.aspx>(JF)

角野康郎(2014)ネイチャーガイド日本の水草. 文一総合出版. (角野)

桑原義晴(2008)日本イネ科植物図譜. 全国農村教育協会. (イネ2)

梶田結衣・米倉浩司・遠山弘法・赤井賢成・天野正晴・阿部篤志・内貴章世(2022)沖縄県西表島における外来植物目録. 大阪市立自然史博物館研究報告. 76: 125-141. (梶田ら2022)

Kaufman S.R. and Kaufman W. (2012) Invasive plants. A guide to identification, impacts, and control of common North American species. Stackpol books, pp.518 (Kaufman)

草薙得一・近内誠登・芝山秀次郎(1994)雑草管理ハンドブック. 朝倉書店. (雑管)

邑田仁・米倉浩司(2012)日本雑管束植物目録. 北隆館. (目録)

長田武正(1989)増補日本イネ科植物図鑑. 平凡社. (イネ)

大橋広好・門田裕一・木原浩・邑田仁・米倉浩司(2015)改訂新版日本の野生植物 1. 平凡社. 東京. (野生植物1)

大橋広好・門田裕一・木原浩・邑田仁・米倉浩司(2016)改訂新版日本の野生植物 2. 平凡社. 東京. (野生植物2)

大橋広好・門田裕一・木原浩・邑田仁・米倉浩司(2016)改訂新版日本の野生植物 3. 平凡社. 東京. (野生植物3)

大橋広好・門田裕一・木原浩・邑田仁・米倉浩司(2017)改訂新版日本の野生植物 4. 平凡社. 東京. (野生植物4)

大橋広好・門田裕一・木原浩・邑田仁・米倉浩司(2017)改訂新版日本の野生植物 5. 平凡社. 東京. (野生植物5)

大川智史・林将之(2016)ネイチャーガイド琉球の樹木. 奄美・沖縄～八重山の亜熱帯植物図鑑. 文一総合出版(琉球樹木).

大野照好・片野田逸朗(1999)琉球弧・野山の花. 南方新書. (琉球弧)

尾崎章・河瀬晃四郎・山中雅也(1991)山溪カラー名鑑観葉植物. 山と溪谷社. (観葉)

Institute of Pacific Islands Forestry, Pacific Island Ecosystems at Risk (PIER) Plant threats to Pacific ecosystems. <http://www.hear.org/pier/index.html> (PIER)

Royal Botanic Gardens, Kew, Plants of the World Online. <https://powo.science.kew.org/> (POWO)

斎藤洋三・井出武・村山貢司(2006)新版・花粉症の科学. 化学同人. (花粉)

坂崎信之(1998)日本で育つ 熱帯花木植栽事典. アボック社. (熱帯花木)

佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫(1982)日本の野生植物草本Ⅰ 単子葉類. 平凡社. (草本Ⅰ)

佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫(1982)日本の野生植物草本Ⅱ 離弁花類. 平凡社. (草本Ⅱ)

佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫(1982)日本の野生植物草本Ⅲ 合弁花類. 平凡社. (草本Ⅲ)

佐竹義輔・原寛・亘理俊次・富成忠夫(1989)日本の野生植物木本Ⅰ. 平凡社. (木本Ⅰ)

佐竹義輔・原寛・亘理俊次・富成忠夫(1989)日本の野生植物木本Ⅱ. 平凡社. (木本Ⅱ)

清水建美(2003)日本の帰化植物. 平凡社. (帰化植物)

清水矩宏・宮崎茂・森田弘彦・廣田伸七(2005)牧草・毒草・雑草図鑑. 全国農村教育協会. (牧草)

清水矩宏・森田弘彦・廣田伸七(2001)日本帰化植物写真図鑑. 全国農村教育協会. (写真図鑑)

自然環境研究センター(2008)日本の外来生物. 平凡社. (外来生物)

鈴木基夫・横井政人(1998)山溪カラー名鑑園芸植物. 山と溪谷社. (園芸)

太刀掛優・中村慎吾(2007)改訂増補帰化植物便覧. 比婆科学教育振興会. (便覧)

高橋秀男・勝山輝男(2000)山溪ハンディ図鑑3 樹に咲く花・離弁花①. 山と溪谷社. (樹の花3)

高橋秀男・勝山輝男(2000)山溪ハンディ図鑑4 樹に咲く花・離弁花②. 山と溪谷社. (樹の花4)

高橋秀男・勝山輝男(2000)山溪ハンディ図鑑5 樹に咲く花・合弁花・単子葉・裸子植物. 山と溪谷社. (樹の花5)

高野信雄(1989)粗飼料・草地ハンドブック. 養賢堂. (粗飼料)

竹松哲夫・一前宣正(1987)世界の雑草Ⅰ—合弁花類—. 全国農村教育協会. (世雑Ⅰ)

竹松哲夫・一前宣正(1993)世界の雑草Ⅱ—離弁花類—. 全国農村教育協会. (世雑Ⅱ)

竹松哲夫・一前宣正(1993)世界の雑草Ⅲ—離弁花類—. 全国農村教育協会. (世雑Ⅲ)

農研機構畜産草地研究所. 写真で見る外来雑草. 侵入危惧雑草種の発芽特性と防除方法. [https://www.naro.go.jp/laboratory/nilgs/weed\\_prevention/index.html](https://www.naro.go.jp/laboratory/nilgs/weed_prevention/index.html)(農研)

豊田武司(2003)小笠原植物図譜(増補改訂版). アボック社. (小笠原)

豊田武司(2014)小笠原諸島固有植物ガイド. ウッズプレス. (小笠原固有)

塚本洋太郎(1994)園芸植物大事典全3巻. 小学館. (園芸事典)

植村修二・勝山輝男・清水矩宏・水田光雄・森田弘彦・廣田伸七・池原直樹(2010)日本帰化植物写真図鑑第2巻. 全国農村教育協会. (写真図鑑)

植村修二・勝山輝男・清水矩宏・水田光雄・森田弘彦・廣田伸七・池原直樹(2015)増補改訂日本帰化植物写真図鑑第2巻. 全国農村教育協会. (写真図鑑)

United States Department of Agriculture, Natural Resources Conservation Service, plants Database. <http://plants.usda.gov/java/> (USDA)

山崎美津夫・山田洋(1994)世界の水草Ⅰ. ハロウ出版社. (水草Ⅰ)

山崎美津夫・山田洋(1994)世界の水草Ⅱ. ハロウ出版社. (水草Ⅱ)

山崎美津夫・山田洋(1994)世界の水草Ⅲ. ハロウ出版社. (水草Ⅲ)

米倉浩司・梶田忠(2003-)BG Plants 和名-学名インデックス」(YList) [http://bean.bio.chiba-u.jp/bgplants/ylist\\_main.html](http://bean.bio.chiba-u.jp/bgplants/ylist_main.html)

Weber, E. 2003. Invasive Plant Species of the World, A Reference Guide to Environmental Weeds, CABI Publishing. (IPSW)

WFO (2022): World Flora Online. Published on the Internet; <http://www.worldfloraonline.org>. Accessed on: 16 May 2022 (WFO)

<種別の参考文献>

引用形式	文献	種名
EPPO	European and Mediterranean Plant Protection Organization (EPPO) Global Database. <a href="https://gd.eppo.int/">https://gd.eppo.int/</a>	キダチカッコウアザミ
Uwimana	Uwimana B., D'andrea L., Felber F., Hooftman D.A., Den Nijs H.C., Smulders M.J., et al. (2012) A Bayesian analysis of gene flow from crops to their wild relatives: cultivated ( <i>Lactuca sativa</i> L.) and prickly lettuce ( <i>L. serriola</i> L.) and the recent expansion of <i>L. serriola</i> in Europe. <i>Molecular Ecology</i> 21: 2640–2654.	トゲチシャ
D'Andrea	D'Andrea L., Felber F., Guadagnuolo R. (2008) Hybridization rates between lettuce ( <i>Lactuca sativa</i> ) and its wild relative ( <i>L. serriola</i> ) under field conditions. <i>Environmental Biosafety Research</i> 7(2): 61–71.	トゲチシャ
鬼頭ら2019	鬼頭誠・玉城杏葉・中谷敬子(2019)キバナツノクサネム ( <i>Sesbania cannabina</i> ) とその近縁種 <i>S. rostrata</i> の種子生産特性からみた雑草化の可能性. <i>雑草研究</i> 64(1):1–4.	キバナツノクサネム
中村2015	中村功(2015)ツユクサ科イボクサ属の日本新産外来種アレチイボクサ. <i>The Journal of Japanese Botany</i> 90: 215–217.	アレチイボクサ
中岡ら2020	中岡望・福川恵利香・比嘉基紀・石川慎吾(2020)高知市における外来木本チュウゴクアカギ <i>Bischofia polycarpa</i> (コミカンソウ科)の逸出とその分布拡大の可能性. <i>植生学会誌</i> 37(1):1–12.	チュウゴクアカギ
中田・川住2015	中田政司・川住清貴(2015)富山県高岡市で野生化した外来水草ラージパールグラス. <i>富山県中央植物園研究報告</i> 21:23–27.	マルバヒメアメリカアゼナ
藤井ら2016	藤井聖子・中村俊之・山ノ内崇志・角野康郎(2016)徳島県海部川水系母川における外来水生植物ラージパールグラス侵入の現状. <i>水草研究会誌</i> 103:1–7.	マルバヒメアメリカアゼナ
山崎・田金2020	山崎海都・田金秀一郎(2020)鹿児島県の外来植物 V: アマゾンチカガミ <i>Limnobiium laevigatum</i> (Humb. et Bonpl. ex Willd.) Heine. <i>Nature of Kagoshima</i> 47:245–248.	アマゾンチカガミ
大森2010	大森威宏(2010)群馬県新産外来植物・シラユキゲシ ( <i>Eomecon chionantha</i> Hance:ケシ科). <i>群馬県立自然史博物館研究報告</i> 14:125–126.	シラユキゲシ
USDA2021	United States Department of Agriculture Animal and Plant Health Inspection Service (2021) Weed Risk Assessment for Hydrocleys nymphoides (Alismataceae).	ミズヒナゲシ
猪瀬ら2015	猪瀬礼璃菜・兼子伸吾・黒沢高秀(2015)福島県喜多方市ひめさゆりの丘の植物相と絶滅危惧植物の現状. <i>福島大学地域創造</i> 26(2):124–141.	ブタクサ、ブタナ、ヘラオオバコ
菊池ら2015	菊地賢・金指あや子・大曾根陽子・澤田興之・野村勝重(2015)絶滅危惧種ハナノキの自生地域における近縁外来種アメリカハナノキの植栽混入. <i>日本緑化工学会誌</i> 40(3):457–464.	アメリカハナノキ
田中・田中2018	田中優太郎・田中麻理(2018)屋久島における外来植物の観察記録. <i>Nature of Kagoshima</i> 44:383–386.	ベンガルヤハズカズラ
辻・日置2017	辻真弥・日置佳之(2017)種特性からみた外来植物の侵略性評価モデルの作成. <i>日本緑化工学会誌</i> 43(1):33–38.	アカボシツリフネ、オオフタバムグラ、ケクロピア・シュレベリアナ、アフリカホウセンカ、コゴメミズ、カッコウアザミ、ケツメクサ、タワダギク
吉川2009	吉川正人(2009)コラム 緑化植物ど・こ・ま・で・き・わ・め・る ナガミヒナゲシ ( <i>Papaver dubium</i> L.). <i>日本緑化工学会誌</i> 35(4)..	ナガミヒナゲシ
Cooper&Johnson. 1884	Cooper. M. and Johnson. (1884) A. Poisonous Plants in Britain and their Effects on Animals and Man. HMSO	ナガミヒナゲシ
中野2015	中野敬一(2015)緑化樹シマトネリコの生態影響について. <i>都市有害生物管理</i> 5(1):15–16.	シマトネリコ
下野・姉川2023	下野嘉子・姉川盤音(2023)絶滅危惧種ヒメフウロにおける在来および外来系統間の生育特性の比較および交雑可能性の評価. <i>自然保護助成基金助成成果報告書</i> 32 (2023): 128–133.	ヒメフウロ
新垣2024	新垣裕治(2024)羽地内海及び屋我地島周辺におけるヒルギダマシ <i>Avicennia marina</i> 及びウラジロヒルギダマシ <i>A. alba</i> の分布拡大と駆除に関する考察. <i>名桜大学紀要</i> 28:1–8.	ヒルギダマシ
新垣ら2013	新垣裕治・山田慶紀・比嘉博斗(2013)沖縄県屋我地島の饒平名干潟に分布拡大するヒルギダマシ ( <i>Avicennia marina</i> ) に関する研究: 国内移入したマングローブ種の分布動態. <i>名桜大学総合研究所紀要</i> (22) 17–23.	ヒルギダマシ
Tsunenariら2024	Kaori Tsunenari, Takuro Ito, Masatsugu Yokota, Mayu Shibabayashi, Chiharu Endo, Kuo-Fang Chung, Yoshihisa Suyama, Ayumi Matsuo, Atsushi Abe, Akiyo Naiki, Hiroaki Setoguchi, Takashi Makino, Yuji Isagi(2024) Double migration of the endangered <i>Tricyrtis formosana</i> (Liliaceae) in Japan (絶滅危惧種 <i>台湾ホトオギス</i> (ユリ科) の重複した日本への移入) <i>Scientific Reports</i> 14:957, DOI: <a href="https://doi.org/10.1038/s41598-024-51431-x">https://doi.org/10.1038/s41598-024-51431-x</a>	台湾ホトオギス
角野2021	角野康郎(2021)富山県高岡市の湧水に野生化した外来水生植物ヒメウキオモダカ (新称) <i>Sagittaria subulata</i> (L.) Buch. (オモダカ科) <i>植物地理・分類研究</i> 69(2)225–231.	ヒメウキオモダカ
吉田2015	吉田 寛(2015)コマツナギ ( <i>Indigofera pseudo-tinctoria</i> Matsum.), 中国産コマツナギ, キダチコマツナギ ( <i>Indigofera</i> spp.). <i>日本緑化工学会誌</i> 41(2)351.	キダチコマツナギ
水産庁2024	水産庁(2024)外来魚に立ち向かう.	ミズワタクチビルケイソウ
麦倉ら2022	麦倉佳奈・Eldrin DLR. Arguelles・鎌倉史帆・大塚泰介・佐藤晋也(2022)ミズワタクチビルケイソウ <i>Cymbella janischii</i> の近畿地方からの初記録およびその生細胞の形態観察. <i>Diatom</i> 38: 49–53.	ミズワタクチビルケイソウ

## 資料 3-3 植物リストの凡例

## 【植物：資料 3 - 3】

## 検討区分における凡例

色	凡例
	現行リストに掲載されている種類。「継続」と記述。
	現行リストに掲載されておらず、事務局で掲載候補と判断した種類。検討区分は「新規（候補）」と記述。

## カテゴリにおける凡例

色	凡例
	現行リスト掲載種のうち、現行リストからカテゴリ区分が変更になるもの（「その他の定着予防外来種→定着防止外来種」といったカテゴリ名の変更によるものは除く）。

## 和名における凡例

色	凡例
	和名（別名、流通名）が現行リストと大きく変わったもの。

## 【植物リストにおける用語等の定義】

※特段の防除取り組みが要請される区域：防除推進外来種にカテゴリ分けされた植物について、特に防除取り組みを推進すべき区域を整理

- ・生物多様性保全上重要な地域：国立公園や世界自然遺産地域等の原生的自然や固有種・絶滅危惧種の生息・生育する地域等
- ・公共緑地：都市公園など

※対策優先度の要件：防除推進外来種のみ記入